

## 「荻窪の記憶」

こぼれバナシ

## 現在と過去を繋ぐ横丁

戦後のヤミ市をルーツとする吉祥寺のハーモニカ横丁はすっかり人気スポットになっていますが、荻窪にもヤミ市に由来し、戦後の雰囲気を残すエリアがあるのをご存知ですか。

荻窪駅北口、バス・ロータリーの東に位置するエリアです。ちなみに、ヤミ市が初期の露店から木造のバラックに変わると、「マーケット」と呼ばれるようになりますが、このエリアには「引揚者厚生マーケット」「中央マーケット」「国際平和第二マーケット」という三つのマーケットが並んでいました。「引揚者厚生マーケット」には上海からの引揚者が多かったそうですが、名前からも世相がうかがわれます。けっして広くはないエリアですが、マーケット時代の路地や井戸が過去と現在をつなぎ、歴史の連続性を感じさせてくれる貴重なエリアになっています。 「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男



荻窪駅北口。手前はバス・ロータリー。その奥に並ぶ低層の店舗がマーケットの名残を感じさせてくれる。



「引揚者厚生マーケット」をルーツとする商店街のアーケード。高度成長期には、街頭テレビに人だかりができました。



同じアーケードにある創業67年の喫茶店・邪宗門



マーケット時代の路地とダイワマーケットタワー



マーケットの二階は住居でしたが、水道はなく、井戸を利用していました。